

令和3年度 第2回雄物川水系渇水情報連絡会【臨時会】概要

事務局：湯沢河川国道事務所

趣 旨： 雄物川水系の6月、7月は小雨傾向であり、先週の台風8号による降雨はあったものの、まとまった雨を落としてはおらず、水系全体で流量が低下している。7月19日から椿川地点の正常流量を下回る状況となっていたが、玉川水系ダム群からの補給により一時的に持ち直したものの、玉川ダム貯水率が70%を下回り、渇水対応タイムラインの「レベル1（渇水注意）」となっている。これにより臨時会を開催し、気象や河川流況、ダム貯水状況、利水状況について情報共有を行った。

日 時：令和3年8月2日（月）15：30～16：40

場 所：湯沢河川国道事務所 テレビ会議室（Web開催）

参加者：54名

議 事：

1. 雄物川水系の流況について（事務局）
2. 気象概況及び予報について（秋田地方气象台）
3. 各ダム及び田沢湖の貯水状況について（各ダム管理者、東北電力（株））
4. 取水状況について（各利水者）
5. 今後の対応について（事務局）

内 容：

- ・7月19日から椿川地点で正常流量を下回り、玉川水系ダム群から補給を開始。流量は回復しているが、依然として安心は出来ない状況。
- ・今年は梅雨が短い。梅雨入りが平年より4日遅く、明けが12日早い。
- ・今後の予報では、前線による雨のようなまとまった降雨は予想できない。
- ・玉川ダムの貯水率は2日9時現在54.3%となっている。このままだと8月5日7時には貯水位375.0m（貯水率50%）を割り込むと考えられる。
- ・県管理ダムにおいても、貯水位が平年を下回る場所が多い。
- ・かんがい用水では、節水の呼びかけや番水が始まっている地区がある。
- ・今後、秋田、湯沢、玉川ダムの3事務所で調整し、渇水対策支部（注意体制）の立ち上げを検討。
- ・渇水対応タイムラインのレベル3の前には、再度臨時会の開催を予定。

